

平成31年度 「道路ふれあい月間」推進標語募集

3月13日(水)まで

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等各種活動を特に推進しているが、この一環として、平成31年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集する。

- 【応募資格】小学生以上
【応募期間】平成31年3月13日(水)まで(当日必着)
【応募部門・賞】最優秀賞1作品、優秀賞2作品
【応募方法】はがき又は電子メール(学校単位でも応募できる)
【入賞作品】賞作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用される。

【募集テーマ】道路は、生活の向上と経済発展の両輪として、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない重要な公共施設だが、あまりにも身近な存在であるため、その役割や重要性が見過されがちである。

振

この平成の30年間の道路を取り巻く状況は、平成21年の道路特定財源の一般財源化をはじめ大きく変化したといえる。

30年前の平成元年は、高規格幹線道路網をはじめとした高速自動車国道から生活圏の形成に必要な都道府県道・市町村道において、全国幹線ネットワークの整備、環状道路や幹線道の整備、渋滞対策や交通安全対策など、立ち遅れた国の道路を緊急に整備するための道路特定財源等を充てて、当面5年間の道路整備の計画を定めた「道路整備5箇年計画」において、一般道路事業、有料道路事業、地方単独事業が計画的に整備されていた。第11次(H5~H9)の計画においては最大の76兆円であり、平成9年は道路事業に係る国費・地方費等を併せた道路投資額も最大となった時期でもあった。

平成31年1月26日(土) 開通

天城北道路 太平IC~月ヶ瀬IC

災害に強い道路の形成



国土交通省が整備を進め、城北道路(太平IC~月ヶ瀬IC)が平成31年1月26日(土)に開通した。天城北道路(延長5.1km)が平成31年1月26日(土)に開通した。

平成31年2月16日(土) 開通予定

歌津本吉道路 歌津IC~小泉海岸IC



国土交通省が整備を進め、本吉道路(歌津IC~小泉海岸IC)と本吉気仙沼道路(本吉気仙沼道路(二期) 本吉津谷IC~大谷海岸IC)が平成31年2月16日(土)に開通する。

伊豆縦貫自動車道天城北道路(太平IC~月ヶ瀬IC)が平成31年2月16日(土)に開通する。延長5.1km

本吉津谷IC~大谷海岸IC(二期)が平成31年2月16日(土)に開通する。延長4.0km

国土交通省が整備を進め、本吉道路(歌津IC~小泉海岸IC)と本吉気仙沼道路(本吉津谷IC~大谷海岸IC)が平成31年2月16日(土)に開通する。

国土交通省では、1台で通常の大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を「生産性革命プロジェクト」に位置づけ、平成28年10月より、実証実験を進めてきた。この実験により、省人化の効果や走行の安全性等が確認されたことから、特殊車両通行の許可基準を緩和し、1月29日より、新東名を中心としたダブル連結トラックの本格導入をスタートした。

「ダブル連結トラック」の本格導入

国土交通省では、1台で通常の大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を「生産性革命プロジェクト」に位置づけ、平成28年10月より、実証実験を進めてきた。この実験により、省人化の効果や走行の安全性等が確認されたことから、特殊車両通行の許可基準を緩和し、1月29日より、新東名を中心としたダブル連結トラックの本格導入をスタートした。

国土交通省では、1台で通常の大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を「生産性革命プロジェクト」に位置づけ、平成28年10月より、実証実験を進めてきた。この実験により、省人化の効果や走行の安全性等が確認されたことから、特殊車両通行の許可基準を緩和し、1月29日より、新東名を中心としたダブル連結トラックの本格導入をスタートした。

- 1. 実験結果の概要
2. 特殊車両通行許可基準(通達)の改正の概要
3. 今後の取組み



特車許可基準の車両長を緩和(現行の21mから最大で25mへの緩和)

高速道路の一部区間で 最高速度を120km/h 試行開始

警察庁では、平成27年度等の最高速度は80km/hの調査研究委員会が取りまとめた「高規格の高速道路における速度規制の見直しに関する提言」を発表した。

これを踏まえ、平成29年11月1日に新東名高速道路の新静岡ICから森掛川ICまでの区間及び同年12月1日に東北自動車道の花巻南ICから盛岡南ICまでの区間において、規制速度を110km/hへ引き上げる試行を開始した。

試行1年間の交通事故発生状況や実勢速度等の結果は、施行前と比較して大きな変化が見られなかったことから、新東名高速道路と東北自動車道の同区間で最高速度を120km/hとする試行を開始するとして、

暮らさずとも道は進む

その後平成20年までの国の当初予算における公共事業予算は、平成10年に7%減となったが、平成11年から平成13年までは9.5兆円、平成14年度に10%減となりその後毎年3%を超える縮減が平成20年まで続いたこと

この30年で高規格幹線道路はネットワークの形になりつつあるが、その整備内容をみると供用延長の約4割は暫定2車線であり、高速走行の安全性、信頼性に欠けることから速やかな4車線化や安全対策が重要である。また一般道路においては都市間の幹線道路である直轄国道の車線数は約7割の区間で2車線であることから円滑な物流ネットワークの確保や渋滞対策のための4車線化などの対策が重要であるが、老朽化対策等のために直轄の予算の約4割は維持修繕費が占め改築費を圧迫している。今般成立した国の平成30年補正第2次補正予算では防災・減災対策等の3カ年緊急対策などの措置が盛り込まれており、今後2020年まで見込まれている。このように速やかな対応が必要な防災対策等は別途行うことで改築の事業が計画的に実施できる環境を今後継続することにより、道路利用者の利便性向上に資する道路整備が推進されることを切に願う。

国土交通省が整備を進め、本吉道路(歌津IC~小泉海岸IC)と本吉気仙沼道路(本吉津谷IC~大谷海岸IC)が平成31年2月16日(土)に開通する。

国土交通省では、1台で通常の大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を「生産性革命プロジェクト」に位置づけ、平成28年10月より、実証実験を進めてきた。この実験により、省人化の効果や走行の安全性等が確認されたことから、特殊車両通行の許可基準を緩和し、1月29日より、新東名を中心としたダブル連結トラックの本格導入をスタートした。

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

- 【工事通行止め】
東北中央自動車道 山形上山IC~山形中央IC
2月25日(月)9:00~3月1日(金)6:00
阪神高速4号湾岸線 泉大津入口(泉佐野方面)
2月28日(木)6:00~5月中旬
九州自動車道 植木IC 夜間閉鎖
3月25日(月)~4月3日(水) 22:00~翌6:00
【工事規制】
中央自動車道 岡谷JCT~伊北IC
3月18日(月)6:00~4月12日(金)24:00 昼夜連続・車線規制
※土日祝日および3月22日(金)は休止
4月13日(土)、14日(日)21:00~翌6:00 夜間通行止め
中央自動車道 中津川IC~園原IC 昼夜連続・対面通行規制
5月8日(水)6:00~7月12日(金)24:00
瀬戸中央自動車道 児島IC~与島PA 追越車線規制
3月1日(金)9:00~3月16日(土)17:00